



Richard &  
Mika Stoltzman  
Duo Recital

# リチャード & ミカ・ストルツマン

デュオリサイタル [ バッハから現代 ]

2021 2/23

14:30開場  
15:00開演

(火・祝)

京都・青山音楽記念館 **バロックザール**

京都市西京区松尾大和町9-1

全席自由

5,000円

※100名限定 ※当日券は500円増  
※未就学児の入場はご遠慮ください

[プレイガイド]

青山音楽記念館、チケットぴあ(Pコード191-961)、  
ローソンチケット(Lコード55044)

[主催・お問合せ] Comodo arts project  
096-288-4635 info@comodo-arts.com

## Program

J.S.バッハ: シンフォニア 第11番 ト短調 BWV797

J.S.バッハ (Mika Stoltzman編曲): シャコンヌ

~無伴奏ヴァイオリン・パルティータ第2番 二短調 BWV1004 より ◆

J.S.バッハ (Richard Stoltzman編曲): 半音階的幻想曲 二短調 BWV903 ◇

J.S.バッハ (Mika Stoltzman編曲): 無伴奏チェロ組曲第3番 八長調 BWV1009 ◆

ジョン・ゾーン: ANIMA2020~ザ・ワクシング・ライト (世界初演)

ハロルド・アーレン (布施威 編曲):

オーバー・ザ・レインボー/キース・ジャレット1984 Tokyoライブによる ◆

モリコーネ (布施威 編曲): ニュー・シネマ・パラダイス

ビートルズ (狭間美帆 編曲): ミッシェル (日本初演)

ブラームス (布施威 編曲): インテルメッツォ イ長調 Op.118-2

チック・コリア: バースデー・ソング・フォー・ミカ2019 (日本初演) ◆

武満 徹: エア ◇

◆=マリンバソロ ◇=クラリネットソロ ※曲目は変更になる可能性があります

## クラリネットの巨匠 リチャード・ストルツマンと、 マリンバの可能性を追求し続けるヴィルトゥオーゾ・マリンビスト ミカ・ストルツマン!

2度のグラミー賞受賞、数多くのオーケストラとの共演を重ねるソリストとして、また革新的なジャズ奏者として、今もなお活躍を続けるクラリネットの巨匠 リチャード・ストルツマン。クラシック、ジャズ、コンテンポラリーなど、ジャンルを超えてマリンバの可能性を広げ、世界で活躍を続けるヴィルトゥオーゾ・マリンビスト ミカ・ストルツマン。バッハの音楽から現代までの多彩なジャンルの曲の数々をソロやデュオで演奏します。至高の音楽を心ゆくまでお楽しみください。

### Profile



#### ミカ・ストルツマン マリンバ

2008年熊本県天草市からニューヨークに移住してNYを拠点に演奏活動を展開している。現在はボストン在住。2000年トロント大学上級演奏学科修了後、東京とNYCでリサイタル開催して本格的に演奏家としてデビュー。10回に渡るNYカーネギーホールでリサイタル成功始め、PASIC2005,2007出演などマリンビストとして現在までに世界21カ国66都市以上で公演を行っている。2001年S.ライヒの「東京/バーモント・カウンターポイント」を編曲演奏してライヒ本人のCD『Triple Quartet』(ノンサッチ)に収録されブージー&ホークスから楽譜も出版されたことで世界的に知られた。これまでに7枚のCDアルバムとライブDVDをリリース。そのうち2枚はスティーヴ ガッドのプロデュースによるジャズPopアルバム。最近では名プロデューサーSteven Epstein氏(グラミー賞18回受賞)とタッグを組みレコーディングを積極的に進めていて、2017年CD『Duo Cantando』(日本コロビア, Savoy, チック コリア等も参加),2019年英国AVIEレーベルからクラシックCD『Palimpsest』、米ナクサスからジャズCD『Tapereba』どちらも日本盤は東京エムプラスからリリース。また作品の委嘱も頻繁に行い、これまで

チック・コリア、ジョン・ゾーン、大島ミチル、マルコス・ヴァリ、T・マッケンリー等の作曲家から曲を捧げられ世界初演している。ジャズの方では、スティーヴ・ガッドやエディ・ゴメス等とのプロジェクト“MIKARIMBA” でブルーノートNY&東京、名古屋などの日米の主要ジャズクラブ、カイロ、ロックポート等のジャズ フェスティバルにも出演。協奏曲ソリストとしては熊本交響楽団、九州交響楽団、関西フィル、ソノバトヘイ交響楽団、ポーランド国立室内楽団と協演。また最近ではメキシコ・ハラパ交響楽団とイタリア・マッペリ室内管弦楽団とチック・コリア作曲「協奏曲第1番」を世界初演。2014年からはクラリネット奏者として夫リチャード・ストルツマンとのデュオを本格的に開始し、オースチン室内楽音楽祭、ロックポート室内楽音楽祭、香港現代音楽祭、サンミゲル音楽祭、クレモナ音楽祭など多数出演。昨年リリースしたCD『Palimpsest』に収録されたソロマリンバによる「バッハ/シャコンヌ」は、グラモフォン誌はじめとする各メディアで絶賛を博し、AllMusic「圧巻は多分「無伴奏ヴァイオリン・パルティータ第2番(BWV1004)」の中の傑作、シャコンヌの編曲版によって、微光を放つテクスチュアに込められたバッハの多声の思いを表出させたミカ・ストルツマンの想像力だろう。見事というしかない。思いがけない傑作だ。」と5星獲得。又この編曲版はカイザーミュージックより楽譜出版されている。クラシックとジャズを縦横無尽に操る、ニュー・ジャンルのマリンバ奏者として益々幅広い演奏活動を展開している。

オフィシャルWebsite <https://mikarimba-stoltzman.com>



#### リチャード・ストルツマン クラリネット

数多くのオーケストラとの共演を重ねるソリストとして、魅惑的なリサイタリストとして、革新的なジャズ奏者として、また、多作なレコーディング・アーティストとして、2度のグラミー賞受賞の栄誉に輝いているストルツマンは、様々なジャンルの批評家、聴衆から圧倒的な支持を受け続けている。クラリネットという楽器に対し、独自のアプローチを持ち、彼以前の誰も予言し得なかったクラリネットの可能性を拓いてみせ、そのことによって国際的な名声を獲得したのである。彼は、ハリウッドボウルとカーネギーホールでクラリネット・リサイタルを行った最初のアーティストであり、エヴリー・フィッシャー賞を受賞した最初の管楽器奏者でもある。彼はまた、ゲイリー・バートン、チック・コリア、ジュディ・コリンズ、エディ・ゴメス、ウディ・ハーマン、キース・ジャレット、メル・トーマ、そしてスパイロ・ジャイラの創設者ジェレミー・ウォールら、ジャズ・ポップ界の錚々たる面々と共演し、レコーディングを行ってきた。また、新作にも熱心に取り組んでおり、スティーヴ・ライヒ、武満徹、スティーヴン・ハートキ、エイノユハニ・ラウタバーラ等による優れたクラリネット作品の初演を行っている。リチャード・ストルツマンのディスコグラフィは60を優に超えており、リチャード・

グールドとの共演で録音したブラームスのソナタ、さらにヨーヨー・マとエマニュエル・アックスと行ったモーツァルト、ベートーヴェン、ブラームスの三重奏曲集で、2度グラミー賞を受賞している。75歳を記念して、『コンプリートRCAアルバム・コレクション』(CD40枚組)が2017年に発売された。オフィシャルWebsite [www.richardstoltzman.com](http://www.richardstoltzman.com)



## Barocksaal

京都 青山音楽記念館

青山音楽記念館 バロックザール

〒615-8282 京都市西京区松尾大利町9-1

TEL: 075-393-0011(受付時間9:30~18:00) 休館日: 月曜・火曜

#### ご来場のお客様へのお願い

- 体調不良のお客様はご来場をお控えください
- マスクの着用にご協力をお願いします
- 座席の間隔を空けてご着席いただきます
- 出演者への花束やプレゼント、面会をご遠慮ください
- チケット半券にお名前と電話番号をご記入の上ご来場ください

新型コロナウイルス感染拡大防止のためご協力をお願いいたします。